

alkalite

OCTOPOD75UV

取扱説明書

Ver 1.03



株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は ALKALITE OCTOPOD75UV をご購入頂き誠にありがとうございます。OCTOPOD75UV は DMX 規格に対応した UV タイプ小型 LED ウォッシャーです。ディップスイッチ操作で固定色を選択可能な他、本体に内蔵されたプログラムでカラーチェンジ・カラーフェード動作し、また、DMX コントローラーを使って操作することも出来ます。

本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。尚、本書が保証書となりますので大切に保管してください。

基本仕様

- UV カラー、白色
- ストロボ動作
- ディミング 0-100%
- DMX-512 対応
- 3DMX チャンネルを使用

安全上の注意

- 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認して下さい。本体に異常がある場合は本製品の使用をお止め頂き、販売店にご相談下さい。
- 本体は必ず安全で、安定した場所に設置して下さい。電源ケーブルは踏まれたり挟まれることのない場所に設置して下さい。
- 本体への接続が全て完了してから本体の電源を入れて下さい。本体を他の機材と接続する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外して行ってください。
- 電源、電圧が正しい事を確認して下さい。AC100V 50/60Hz 環境にてご使用下さい。
- 感電防止の為、使用中は部品に触れないで下さい。本体カバーを外した状態で本製品を使用しないで下さい。また、アース端子は必ず接続して下さい。
- 本製品は屋内専用です。本製品を屋外で使用した場合保証対象外となりますので予めご了承下さい。また周囲温度が 40 度を超える環境では使用しないで下さい。
- 本体は壁から約 15cm 以上離し、通気性の良い場所に設置し、布等を被せないよう、また、周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようご注意下さい。使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないで下さい。
- 本製品に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようご注意下さい。感電や火災の原因になります。
- ディマーパックからの電源供給は行わないで下さい。
- 長期間使用しない場合は電源ケーブルをコンセントから外して下さい。

故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡下さい。

メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

基本設定

DMX-512

DMX512 とは照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行う為の世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の IN、OUT 端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

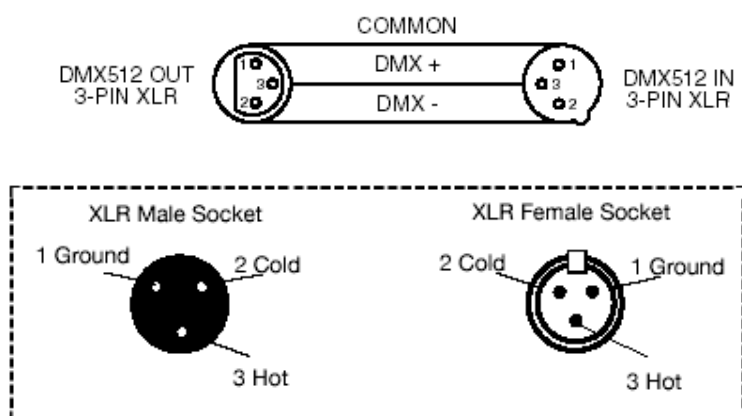
DMXリンク

DMXデータの正確な送受信を行う為、ユニット間をつなぐケーブルはできる限り短いものをお使い下さい。また、ユニットが接続された順番とDMXのアドレス指定は関係しません。接続されたユニットに対して任意のアドレスを設定することが可能です。

DMX ケーブル

OCTOPOD75UV は 3DMX チャンネルを使用するユニットです。DMX アドレスは本体の背面のディップスイッチで設定して下さい。DMX 機器との接続は 3 ピン XLR 仕様のデジタルケーブルを使用して直列に行います。

DMX ケーブルを作る際は、以下の図を参照して下さい。

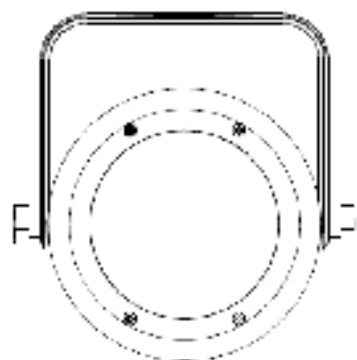


5 ピン XLR 仕様の DMX コネクター

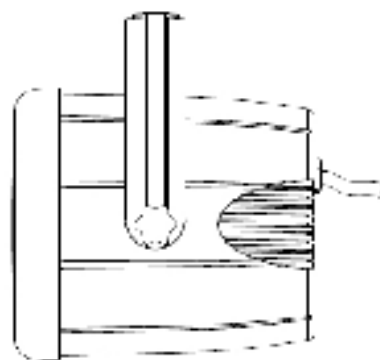
メーカーによっては 3 ピン XLR コネクターの代わりに 5 ピン XLR コネクターを DMX 信号の通信用に採用しています。5 ピン XLR コネクターを OCTOPOD75UV に接続する際は変換アダプターをお使い下さい。

本体図

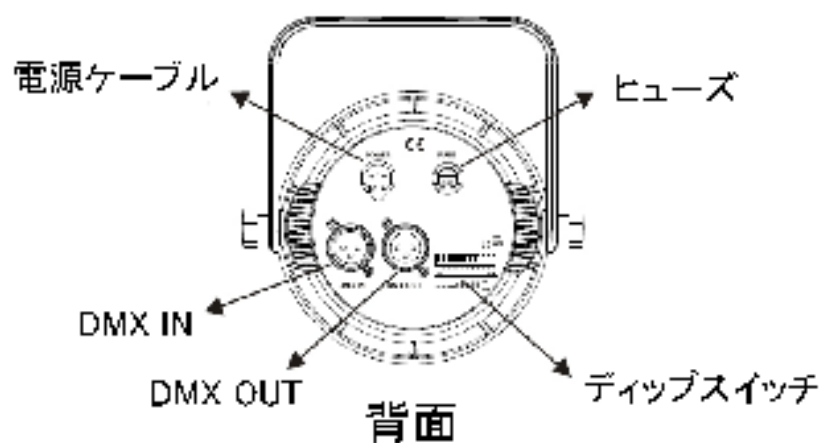
外観図



前面

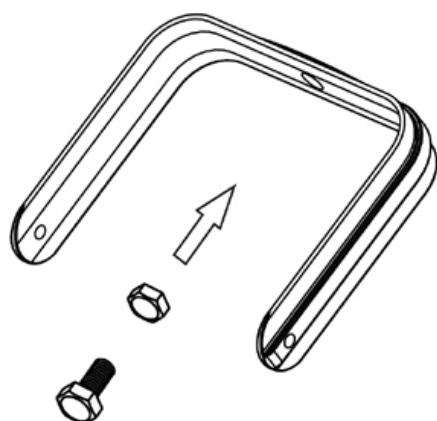


側面



背面

ブラケット図



本体をバー等に吊り下げる場合、ブラケット中央の穴に、対応するクランプを通してご使用下さい。※M10 ネジ対応

基本操作

本体の設定は、本体背面にあるディップスイッチを使用します。

操作モード

OCTOPOD75UV は以下 4 通りの方法で操作することができます。

- ・マニュアルモード : マニュアルで色の固定をすることができます。
- ・プログラムモード : 内蔵された 2 プログラムから 1 つを選び、動作速度やストロボスピードを変えることが可能です。
- ・マスター/スレーブモード : スレーブに設定した灯体がマスター灯体に同期して動作します。
- ・DMX コントロールモード : DMX コントローラーで操作します。

マニュアルモード

ディップスイッチの 1～4 を使用して、UV カラーの出力値を設定します。1 のみ ON にした時が一番暗く、1～4 全てを ON にした時が一番明るくなります。

DIP NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
OFF					▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
ON	▼	▼	▼	▼								

ディップスイッチの 5～8 を使用して、白色の出力値を設定します。5 のみ ON にした時が一番暗く、5～8 全てを ON にした時が一番明るくなります。

DIP NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
OFF	▲	▲	▲	▲					▲	▲	▲	▲
ON					▼	▼	▼	▼				

プログラムモード

ディップスイッチの 10 を ON にすると、カラーフェード動作になります。

DIP NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
OFF	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲		▲	▲
ON										▼		

ディップスイッチの 9 と 10 を ON にすると、カラーチェンジ動作になります。

DIP NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
OFF	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲			▲	▲
ON									▼	▼		

プログラム動作時、ディップスイッチの 1～4 で動作スピードを設定できます。

1 のみ ON にした時が一番遅く、1～4 を全て ON にした時が一番速くなります。

プログラム動作時、ディップスイッチの 5～8 でストロボスピードを設定できます。

5 のみ ON にした時が一番遅く、5～8 を全て ON にした時が一番速くなります。

マスター/スレーブモード

接続した複数の灯体をマスター/スレーブモードで同期させることができます。

[接続及び設定方法]

1. 本体の電源ケーブルを外し、マスターとなる灯体を 1 台選びます。
2. 本体の背面にデジタル 3ピン XLR ケーブルを接続し、灯体を直列に連結して下さい。マスターとなる灯体が端になるようにし、XLR メスを接続します。
3. 接続が完了したら本体の電源を入れ、マスター灯体のディップスイッチの 11 を ON にします。

DIP NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
OFF	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲		▲
ON											▼	

4. スレーブ灯体のディップスイッチの 1～10 全てを ON にします。

DIP NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
OFF											▲	▲
ON	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼		

5. マスター灯体のディップスイッチ 1～10 を用いて任意の色、又はプログラムに設定します。

DMX モード

DMX コントローラーで操作します。

ディップスイッチの 10 と 12 を ON にし、1～9 を用いて DMX アドレスの設定を行います。

DIP NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
OFF	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲		▲	
ON										▼		▼

DMX アドレスの設定方法については、「ディップスイッチによるチャンネル設定」の項をご覧ください。

－ DMX 表 －

チャンネル	DMX 値	動作
1	0-255	UV 0% → 100%
2	N/A	N/A
3	0-255	白 0% → 100%
4	0-159 160-255	ディミング 0-100% ストロボ遅→速

ディップ スイッチによるチャンネル設定

ディップスイッチを使用してチャンネル設定を行う照明機器のチャンネル設定は、下記の表を参照して下さい。設定方法の詳細につきましては次項の『ディップスイッチによる DMX チャンネルの設定方法 (詳細)』を参照して下さい。

Ch	ディップ スイッチ設定						
1		19		37		55	
2		20		38		56	
3		21		39		57	
4		22		40		58	
5		23		41		59	
6		24		42		60	
7		25		43		61	
8		26		44		62	
9		27		45		63	
10		28		46		64	
11		29		47		...	
12		30		48		128	
13		31		49		...	
14		32		50		256	
15		33		51		...	
16		34		52		512	
17		35		53			
18		36		54			



DIP NO	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
DMX ADD	1	2	4	8	16	32	64	128	256			

ディップスイッチによる DMX チャンネルの設定方法(詳細)

DMX のスタートチャンネルをディップスイッチで決めるタイプはすべて二進法で計算されています。

＜二進法とはなにか？＞

通常私たちの生活では十進法が使用されています。十進法とは、0～9を使って数字を表わし、10 になったら位を上げるという考え方です。二進法とは、0もしくは1を使って数字を表わし、2になったら位を上げるという考え方です。

例をあげると

十進法	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
二進法	0	1	10	11	100	101	110	111	1000	1001	1010	1011

この様になり、二進法計算のディップスイッチでチャンネルを決める場合、『0=OFF 1=ON』の考え方になります。

スイッチの設定上 ON / OFF の並びが左右逆での繰り上げで設定となりますが、スイッチで表記した場合

十進法	0	1	2	3	4
二進法	0	1	10	11	100
ディップ スイッチ					

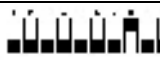
十進法	5	6	7	8	9
二進法	101	110	111	1000	1001
ディップ スイッチ					

このようになります。

また、位の大きいチャンネルを設定する場合、下記の方法を覚えておくと簡単にチャンネルの設定が可能となります。

各番号のスイッチのみ ON にした場合

十進法	1	2	4	8	16
二進法	1	10	100	1000	10000
ディップ スイッチ					

十進法	32	64	128	256	512
二進法	100000	1000000	10000000	100000000	1000000000
ディップ スイッチ					

となりますが、通常の 10 進法と同様に、足し算ですべてのチャンネルを即座に計算することが可能となります。またその場合、全ての計算において、設定したいチャンネル数を上記の『各番号のスイッチのみを ON にした場合』にある、1, 2, 4, 8, 16, 32, 64, 128, 256 の数字に分解して考える必要があります。

例にとってみると

チャンネルを 6 に設定したい場合： $6 = 4 + 2$

$$= \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 4 & 8 & 16 & 32 \\ \hline \text{ON} & \text{ON} & \text{OFF} & \text{OFF} & \text{OFF} & \text{OFF} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 4 & 8 & 16 & 32 \\ \hline \text{OFF} & \text{ON} & \text{OFF} & \text{OFF} & \text{OFF} & \text{OFF} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 4 & 8 & 16 & 32 \\ \hline \text{ON} & \text{ON} & \text{OFF} & \text{OFF} & \text{OFF} & \text{OFF} \\ \hline \end{array}$$

チャンネルを 40 に設定したい場合： $40 = 32 + 8$

$$= \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 4 & 8 & 16 & 32 \\ \hline \text{OFF} & \text{OFF} & \text{OFF} & \text{ON} & \text{OFF} & \text{ON} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 4 & 8 & 16 & 32 \\ \hline \text{OFF} & \text{ON} & \text{OFF} & \text{OFF} & \text{OFF} & \text{OFF} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|c|c|c|c|c|} \hline 1 & 2 & 4 & 8 & 16 & 32 \\ \hline \text{OFF} & \text{ON} & \text{OFF} & \text{ON} & \text{OFF} & \text{ON} \\ \hline \end{array}$$

この様にして、簡単にチャンネル数を設定する事が可能となります。

故障かな？と思ったら

DMX に反応しない

DMX ケーブルが正しく接続されているか、正しく結線されているか確認して下さい。（通常 3 番が HOT となりますが、ケーブルによっては 2 番が HOT となります）

また、ケーブルが正しいコネクタにつながれているか確認してください。

電源が入らない

電源ケーブルが損傷していないか、また、ヒューズが切れていないかご確認ください。

ヒューズが切れている場合、下記手順に沿ってヒューズを新しいものに交換してください。

ヒューズ交換方法

1. 電源ケーブルを抜いてください。
2. 電源コードの隣にあるヒューズホルダーをドライバーで回して取り外します。
3. ヒューズを新しいものに交換し、ヒューズホルダーを本体に取り付けます。

メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行って下さい。 ＜ ＞内は対応期間の目安となります。

※1 メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行って下さい。

※2 ガラスクリーナーやアルコール等でのクリーニング後は、完全に乾かしてからご使用下さい。

外側のカバー ＜一週間に一度＞

■カバーが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行って下さい。

信号ケーブル、電源ケーブル、アダプター差込口 ＜一ヶ月に一度＞

■差込口部分に埃や汚れがつかますと、ショートし、灯体が正常に作動しない恐れがあります。

→エアードスターやブラシで埃を除去してください。差込口にぐらつき等がないかご確認ください。

ネジ ＜三ヶ月に一度＞

■各部位のパーツが正しく固定されていないと、パーツ等が落下する恐れがあります。

→各パーツが正しく固定されているか、ネジの山がつぶれていないかご確認ください。

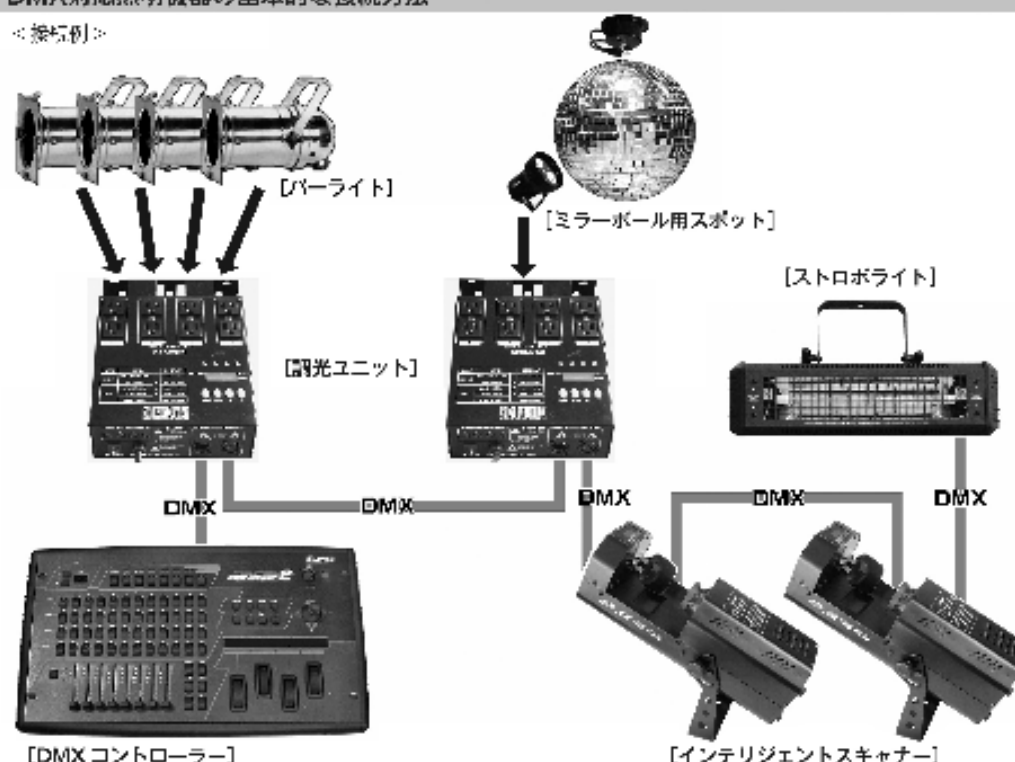
製品仕様

モデル	OCTOPOD75UV
使用電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力	10W
ヒューズ	1A
LED 個数	81 個 (UV45 個、白 36 個)
照射角度	UV45 度、白 15 度
照射出力	白 185Lux、UV50Lux(1m 時)
重量	0.6Kg
寸法	W15.5×H13.7×D17.1cm
色	UV、白
DMX チャンネル	3DMX チャンネル

※製品の仕様は改良の為、予告無く変更する場合がございます。

DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>



- DMX対応の照明機器は、上の図のように配線を行います。配線用ケーブルにはDMXケーブルを使用して下さい。接続する台数に制限はありませんので、建物の装飾機器が簡単に接続出来ます。DMX対応のスモークマシーンも同様に接続可能です。
- DMX対応の照明機器を接続する際、必ず正しいケーブルが、なるべく配線が長くない様に配線を行って下さい。
- 調光ユニット(ディマー)を使用し、バーライト(PAR64やPAR35等)の明るさを調節します。
- インテリジェントスキャナーや、ストロボ等の装置は通常のコンセントからとって下さい。バーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりが故障の原因にもなります。DMX非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取って下さい。

※ 長距離の配線について

50mを超えるような配線になる場合、DMX信号の伝達がいかに照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用して下さい。ターミネーターとは最後に接続されたDMX対応照明機器の出力に差し込むダミープラグをさします。作成の方法に下記の作成方法を参照して下さい。

ターミネーターの作成方法

The image shows a metal tube (HOSA DMT-414) and a schematic diagram of a terminator circuit. The diagram shows a 120Ω 1/4W resistor connected between pins 2 and 3 of an XLR connector, with pin 1 grounded.	ターミネーターは、HOSA DMT-414をお買い求めします。 自作される場合はオスのXLRコネクタを使用し、120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。
---	---

保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合は、本保証書に記載された修理基準により無償修理いたします。

お買い上げ日より1年間有効

■保野規定

所附の門外に記入する半門に於いて、取捨得可、本隊が、その日の作戦中に果敢と正當に使用された。發生した空襲については、意外に輕微である。殊に岡山内では、おぼつかないが、オーストラリアからの機銃掃射による焼死を有するが、これは数人である。以上のことから、この空襲は、大體無害なものと見て好む。この空襲の結果として、

1. 設置場所・方向が不適当な例：遮光・遮熱・遮音などの効果を得るための設置の場合
2. リラウンドの不足及びリラウンドの過剰（例えば、窓の開口部が狭くなる）による窓の性能が低下する例
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 火災・地震、風雨、ガス、水害、盗害、及び周辺工事による破壊及び損傷の場合
5. 製品に何らかの損傷や異物が付着し、正しく機能しないことによる故障及び性能が低下した例
6. 落下など、外傷による故障または正しく機能しないことによる故障が原因となる例
7. 異常電圧や指定外仕様での電圧が使用したことによる故障及び損傷を受けた例（例：電圧値などの電圧による異電圧による故障）
8. 製品の設計・製造、包装、インストール、使用、メンテナンス（メンテナンス）の誤りが原因の場合
9. 製品のメンテナンスが不足した例（例：フィルターやセンサーの交換、清掃、調整など）
10. お客様自身または、同業者が誤った作業を行ったことによる故障または損傷
11. その他、メーカーが責任を負えない例

● 五子合片

したが、作田氏の持論に要する費用は、全くお宝塚の負担となります。何しろ、平田に飾りだめとされたお宝塚平田ならぬ、宝塚の日本人の叔母の都合は、足尾銅川に流すお宝塚の責任を担うはずで、平田は世間で公衆です。お宝塚などの被害の都合は、お宝塚への責任は、お宝塚にあり、お宝塚に責任を負うには、お宝塚の責任を負うべきであり、お宝塚の責任を負うべきです。

●R4型：二重晶系零型：

[illegible]

●主西丁巳

アサシンのサメは日本国内のみならず海外でも、また、いかなる場合においても食品の生産、及び販売から完全に排除し、更に飼育と通じ、事業利益の損失、苦痛の上げ、苦難等の損失、又はその後の全額死滅しに関与し、サメの捕獲、及び飼育を禁じられた。

alkalite